

今から考えておこう！ 新型コロナウイルスと災害時の避難行動

台風等の気象状況で大雨が予想される時は「早めの避難」を心がけてください。いざという時のために今から「避難先」も考えておきましょう。

災害が起きてから避難先や避難方法を考えたのでは間に合いません。

あらかじめハザードマップなどで自宅周辺のリスクを把握し、頼れる知人や親戚にお願いしておくなど、「今からできる備え」をすることが大切です。

「分散避難」を心がけよう

災害のおそれがある時に、「避難所」に多くの人が密集すると、新型コロナウイルスの感染リスクが高まります。

避難所のほかに、「親戚・知人宅」「ホテル」「在宅避難」「車中泊」などさまざまな避難先を、検討しておきましょう。

頼れる知人などがいれば

安全な場所に住んでいる親戚や知人など頼れる人がいれば、避難させてもらうことや、そこまでの移動手段などを事前に相談しておきましょう。

在宅避難も考えて

川の近くや低い土地、斜面といった危険な場所ではない所に住んでいる人は、新型コロナウイルスに感染するリスクが高い、密集した避難所へ避難する前に、自宅にとどまって避難生活をする「在宅避難」も考えてください。

※家庭で日ごろから食料、飲料水等の備蓄をしておくようにしましょう

安全な場所で車中泊も考えて

浸水リスクがある地域や山の斜面の近くなど危険な場所でなければ、一時的に車の中で過ごす「車中泊」も考えられます。その場合は定期的な運動や換気などを心がけましょう。

危険！と感じたら

ためらわず避難所へ

○避難所に行く時、どんなことに気をつければよいのでしょうか？

災害から命を守るために大事なのが「避難」です。しかし、避難所に行くことで、感染の不安もあると思います。避難所に行く時のポイントを確認しておきましょう。

避難所に行く前に体調チェック！

感染拡大を未然に防ぐために、「避難前の体調チェック」は大切なことです。発熱やせき、強いだるさといった症状が出ていないかチェックするとともに、体温を計ることで感染の疑いがあるかどうかを判断することが大切です。



避難所に行くもの

避難所に行く際に、感染症を防ぐために持っていきたいものです。

- ✓ マスク
- マスクを持っていない場合は、鼻と口を覆える大きさのハンカチやタオルなども代わりに使えます。



✓ アルコール消毒液

アルコール消毒液がない場合、ウェットティッシュも使えます。



✓ 体温計

自身と家族で使う体温計も持っていきましょう。



この他にも普段から服用している薬など必要なものを確認しておきましょう！

避難所生活で気を付けること

3つの密を避ける

- ①「密閉・密集・密接」の3つの密を避けましょう。
- ②「他人と2メートル以上の距離をとる」
- ③「密接した状態での会話は避ける」

人と向かい合わせではなく背を向けて座るようにしたり、段ボールなどで間仕切りを作ったりすることにより「密集」「密接」を防ぎ、せきやくしゃみなどによる飛まつ感染の防止に効果があります。

手洗い・消毒の徹底

食事の前や、トイレに行った後などは必ず手洗いやアルコール消毒をするようにしてください。

ドアや手すりなど、多くの人に触るものに触れた後は、手洗いや消毒を徹底するようにしてください。

